

平成 22 年 6 月 8 日

公立大学法人大阪府立大学
理事長・学長
奥野 武俊様

大阪女子大学同窓会斐文会
理事長 高橋 充子

要 望 書

学長におかれましては、ご多忙にもかかわらず、私ども大阪女子大学同窓会斐文会に対して並々ならぬご配慮をしていただき、厚くお礼申し上げます。

また、大阪女子大学関係の図書、とりわけ貴重書などの古書類について、大阪府立大学学術情報センター図書館にあらたに保管庫を設置し、整理・保存を進めていただいておりますこと、さらには、今春には貴重書フェアの開催および図録『蔵品選』を発刊いただきましたことは、大変ありがたく、深く感謝申しあげる次第です。

しかしなお、大阪女子大学同窓生といたしましては、大阪府立大学の新体制への移行が当初予定より 1 年遅れることが決定されました今、大学再編に関して、再度次のような要望をさせていただきます。よろしくご検討ご高配賜りますようお願い申し上げます。

〔要望事項〕

1. 昨年 10 月 28 日付で学長に提出の要望書のうち 1 の (1)

「1. 大阪女子大学から新生大阪府立大学に引き継がれた、学問・研究の継続・発展を念願します。

(1) 上記を引き継いだ学科と研究の場を保障していただきたい。」

について、より具体的に、下記のとおり要望します。

大阪女子大学の学問・研究の継続・発展を願い、

①大阪女子大学の人文社会学部・理学部の各学科が 4 学域の中にどのように組み込まれるのか、具体的にご説明いただきたい。

②新学域へ組み込まれず、実質廃止見込みとされている、現行人間社会学部の言語文化学科の日本語文化学コースと英米言語文化学コースに相当するものを、現代システム科学域の学類または課程に 1 項を設けていただきたい。

(例えば、国際文化学類・国際文化科学課程)

③貴重書を拠点とした教育と研究の場をぜひ存続していただきたい。

2. 現行どおりの資格取得が可能なカリキュラムを要望します。

大阪女子大学は、大阪府女子専門学校の時代から、女性が教員資格を取得できる数少ない学校でした。戦後大阪女子大学となってからも、卒業生の多くが、教員や公務員など様々な分野で活躍し、女性の地位向上のために貢献してきました。統合後、大阪府立大学にもその伝統が受け継がれ、多くの女子学生が、卒業後の進路をめざして、高い意気込みで学んでいます。従来取得できた教員免許や学芸員などの資格取得が今回の改革でも引き続き可能であることを強く要望します。

収	受
平	22.6.-8
総務第	号
大阪府立大学	